

第 23 回小学生室内ティーボール大会 ローカルルール

1 施設と用具

- (1) ボール・バットは、主催者が用意したものを使用する。ボールはインドア用（低反発）11 インチ。
- (2) 守備時はグラブを着用すること。
- (3) バッターズサークル・・・本塁プレートの中点を中心として、半径3mの円を描く。
打者はこのサークル内で打撃を行う。
- (4) バッティングティー・・・バッティングティーは、本塁プレートの後方50cm以上1m以内に置く。

2 本塁手規定

本塁手は打者が打撃を完了するまでは、バッターズサークルの外にいないなければならない。

3 打撃規定

- (1) 打者はボールを持ってバッターズサークルに入り、バッティングティーの高さを調節後、ボールをバッティングティーに載せ、審判が「プレイ」と宣告したら速やかにボールを打つ。
- (2) 打撃時の軸足の移動は1歩までとする。2歩以上動かししたときは、ワンストライクが加えられる。
ツーストライク後からこれを行ったときは、打者は三振である。
- (3) 打者がボールを打たないで、ティーだけを打ったときは、空振りでもワンストライクが加えられる。
ツーストライクからこれを行ったときは、打者は三振である。
- (4) ツーストライク後のファールは、打者はアウトである。
- (5) バントやプッシュバントは認められない。これを行ったときは、ワンストライクが加えられる。
ツーストライクからこれを行ったときは、打者は三振である。
- (6) 打撃後、バッターズサークルから直接バットがサークル外に出た場合は即アウト。（転がって出た場合はOK）

4 走塁規定

- (1) 走者は打者が打った後、離塁することができる。走者の離塁が早いときは、走者は離塁アウトになる。
- (2) 盗塁は認められない。
- (3) スライディングは禁止する。行くと走者はアウト。
- (4) 走者の1塁、2塁、3塁での駆け抜けは認められる。駆け抜けた後、進塁の意志がない場合には野手にタッチされてもアウトにならない。

5 試合

- (1) 全員打撃制のルールとし試合は2回とする。
- (2) 同点の場合は、リーグ戦であれば引き分け、トーナメントであれば抽選で勝敗を決定する。
- (3) 残塁の走者は次回に受け継ぐ。最終回の残塁者はこの限りではない。
- (4) 攻守の決定は、試合前に両チームのキャプテンによるジャンケンで決定する。
- (5) 球審によって「プレイボール」が宣告されると、試合は開始される。
- (6) 10 人目の打者については、打者及び走者がアウトになった時、または「タイム」がかかった時点で攻撃は終了となる。
- (7) インフィールドフライのルールは適用しない。
- (8) タッチアップあり。※10番バッターのときはタッチアップなし
- (9) 守備者は「タイム」がかかったらボールを次打者のところに転がす。

※ダイレクトや球速の速いゴロでの送球はしないこと！！

6 審判

- (1) 審判は、各チームの帯同審判で行う。
- (2) 球審と塁審は、打者走者の進塁が一段落しボールが内野手か本塁手に戻ったら「タイム」をかける。

7 チーム登録及び棄権について

- (1) 1チーム 選手10人以上20人以内 引率者4人以内とする。
- (2) 大会当日、風邪等でチームの人数が足りない場合、選手を他チームから借用して交流試合を行ってよい。しかし、下記のルールに沿って選手の借用を行うものとし、試合の結果は棄権と同様とする。
 - ・選手の借用は2人までとし、借用する選手の学年の制限は設けない。
 - ・選手を借用する場合は同じリーグの試合していないチームから選手を借用する。
2チーム出ている場合、同じチームからの借用は認めない。
 - ・上記の内容が厳しい場合、9人または8人で交流試合を行ってもよい。
ただし、チームの人数が7人以下の場合は棄権とする。

上記に記載の無いものについては、日本ティーボール協会公式規則「日本協会発行」に準拠する。

8 その他

- (1) リーグ内の順位決定方法 ①勝敗 ②得失点差 ③総得点 によって決定する。
(①②③が全て同じ場合は抽選)
- (2) 主催者及び役員の指示に従うこと。
- (3) ベンチに入れるのは登録選手と申込書で書かれた引率者(4名以内)とする。
- (4) 当日の練習割り当てについて
前半…7:30~7:50 後半…7:55~8:15 とする